

音楽芸能スタッフ科 照明コース
1年次 受講科目一覧

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	一般教養 I	74	2	4
講義	音楽史 I	74	2	4
講義	電気・舞台知識 I	74	2	4
講義	P C 知識 I	74	2	4
講義	コンサートスタッフ知識 I	74	2	4
実習	分野別実習 I	74	2	2
実習	イクイップメント I	74	2	2
実習	照明 I	74	2	2
実習	C A D I	74	2	2
実習	デザイン I	74	2	2
演習	スタッフワーク I	148	4	8
合計		888	24	38

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	<input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要					
<p>①企業に就職するために必要な知識とスキルを身に付けるための授業を行う。</p> <p>②人として信頼されるための第一印象の重要性、ビジネスマナー(マナーの5原則・敬語・電話対応など)、履歴書の作成方法、面接対策。</p> <p>③卒業後の自分を見据えるためのキャリアビジョンを設定し、実現に向けて何が必要かを考えていく。</p>					
到達目標					
<p>・社会人になるための心構え、教養、作法を身に付け将来の自分、自分の目標を明確にし、その目標に向かってのプランニングをできるようにする。</p> <p>・身だしなみ、挨拶の仕方や正しい敬語の使い方など社会人として必要な一般常識、並びに名刺交換の作法、電話対応、ビジネスメールなどビジネスマナーの応用知識を身につける。</p> <p>・就職活動における履歴書及びエントリーシートの完成度を高めるとともに面接対策なども実施する。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・自分の第一印象は？、信頼印象力 ・キャリアビジョン(目標設定)
【前期】 5～8回目	・マナーとは？、マナーの5原則 ・就活の身だしなみ
【前期】 9～12回目	・敬語とは？(尊敬語、丁寧語、謙譲語、クッション言葉、間違えやすい敬語) ・敬語を使った自己紹介文作成
【前期】 13～16回目	・電話対応。(かけ方、受け方、取り次ぎ方) ・就活についての基本事項、企業研究
【前期】 17～19回目	■前期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自分の第一印象・キャリアビジョンについての自分の考えをまとめたものを記述する。
【後期】 20～23回目	・キャリアビジョン(自己分析) ・自己PR、志望動機作成
【後期】 24～27回目	・履歴書作成 ・エントリーシート作成
【後期】 28～31回目	・一般常識、SPI対策
【後期】 32～35回目	・面接対策
【後期】 36～37回目	■後期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自己PRをまとめたものを記述する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分の第一印象について知ることで、自分の長所をどのように活かし、短所をどのように変えていけばよいのかについて考え、自己成長につなげて行く。更に、キャリアビジョンについて考えることで自分の目標設定ができ、これからの学内での2年間をどのように過ごすのか、どういう姿勢で授業に取り組むのかを考えることができる。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音楽史 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音楽史 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のバンドで上京、翌年にはビクターエンタテインメントよりメジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。 上記の経験を活かしポピュラーミュージックの歴史についての講義を行う。				
授業概要					
①ジャズやブルースの時代まで遡り、1950年代のエルヴィス・プレスリーや1960年代のビートルズなど、その時代を象徴するアーティストを時代背景と並行して学ぶ。 ②現代のポピュラーミュージックに至るまでの流行や低迷の歴史、並びに変遷を学び一つの事柄(ジャンルや、アーティスト、楽曲等)に対して深く掘り下げ、他との関連性を調べる習慣を身に付け、「知る」という行為、「探究心」を育てる。					
到達目標					
・音楽史を学ぶ事により、数々のジャンルや時代背景についての理解を深め、それぞれの現場において、演者が目指すであろう音楽像を、様々な音楽ジャンルの中より察知し、具体的な提案や、技術提供を通して、音作りや演出等に活かせるよう感性を磨き、担当するアーティストの活動がより良いものとなるよう常に研究・模索する人物であること。 ・音楽業界人の一般教養として、あるいは、音楽についての会話を通じて、円滑なコミュニケーションを図る一つのツールとなる様、その知識を活用できる人物になること。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ジャズ、ブルースの誕生と時代背景の講義。
【前期】 5～7回目	1950年代のロックンロールの誕生などアメリカにおける流行音楽の講義。
【前期】 8～11回目	1960年代のビートルズの登場などイギリスにおける流行音楽の講義。
【前期】 12～14回目	1970年代以降、多様化するロックのジャンルの概要についての講義。
【前期】 15～18回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 19～21回目	ハードロックの流行や多数の派生ジャンルの登場などの講義。
【後期】 22～24回目	1980年代のメタルやポップスの流行、MTVの登場などの講義。
【後期】 25～27回目	1990年代の様々な流行音楽の講義。
【後期】 28～30回目	その他、様々なジャンルについての講義。
【後期】 31～37回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知ることとはとても重要なことのひとつです。 授業を通して学んだことは、音作りや演出などに直接反映され、将来の仕事に繋げることができます。
備考	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	電気・舞台知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	電気・舞台知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ヤマハ音楽振興会 StudioUIにて長年レコーディングエンジニアとして従事した後、現在は様々なイベントにおいて制作業務や舞台監督として活躍。これまでポピュラーソングコンテスト、世界歌謡祭やドイツのドレスデン室内楽団など国内、国外問わず他多数のイベントに携わる。 上記の経験を活かし電気と舞台に関する講義を行う。				
授業概要					
①演劇、音楽、舞踊、演芸、伝統芸能など舞台業界裏方として会館、公共文化施設、ホール、演芸場、ライブハウス等への出入りの際最低限の電気に関する知識の習得、劇場、ホール等の舞台機構や公演製作等の基礎知識を学び舞台技術基礎を取り入れる事により現場でのコミュニケーションを円滑にし、優れた創造性の基盤をつくりあげる。					
到達目標					
・様々な音響照明舞台現場に於ける一般常識やエンターテインメント業界の裏側の一般的な知識を身に付け校外現場にも対応可能にし社会人として業界人として活躍出来るよう学習する。					
・実際に民間劇場での実習を行い様々な用語舞台設備等の確認、現場にて劇場等での電気に対する理解を深める。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	電気・電流についての講義① ・電気と？
【前期】 5～8回目	電気・電流についての講義② ・感電の恐怖及び対策。
【前期】 9～12回目	電気・電流についての講義③ ・電気極性について。
【前期】 13～16回目	電気・電流についての講義④ ・電流について。
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期講義での知識習得確認の為、穴埋め及び記述式の筆記試験で合否を決める。
【後期】 20～23回目	劇場舞台についての講義① ・劇場舞台での電源の取り方。
【後期】 24～27回目	劇場舞台についての講義② ・劇場舞台照明電源について。
【後期】 28～31回目	劇場舞台についての講義③ ・劇場舞台に必要な電気知識。
【後期】 32～35回目	劇場舞台についての講義④ ・舞台全般電気知識を極める。
【後期】 36～37回目	■後期試験:後期講義での知識習得確認の為、穴埋め及び記述式の筆記試験で合否を決める。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	舞台裏側の業界は仕事上電気を扱う事は必須です。近年電気事故による大怪我も少なくありません。自分自身の身を守る事にもつながる電気知識の学習にしっかりと励んで下さい。劇場での業務にも支障が出ないように舞台知識も必要な科目です。劇場内の機構やシステムを知り尽くして卒業して頂ければ現場での即戦力に繋がります。
備考	舞台技術の共通基礎

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	PC知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	ソフトウェア関連企業で10年以上に渡りSE業務に従事。WEBや制御に関するソフトウェア業務を担当する中で、Microsoft Officeを駆使し企画書や設計書など内部資料作成を行う。 上記の経験を活かしコンピューター技術に関する講義を行う。				
授業概要					
パソコンは、生活を便利にするツールとして今日、あらゆるシーンで利用されている。スマートフォン・タブレット全盛の時代だが、ビジネスの世界では業界問わずパソコンを使いこなすことができることが必須項目である。この講義では、パソコンの各部名称といった最も基本的な項目からスタートし、音楽業界だけでなく、現在のビジネスで標準的に利用されているMicrosoft Office(Word/Excel/PowerPoint)ソフトウェアの概要と基本的な使い方を学ぶ。					
到達目標					
<p>・Word(文書作成)、Excel(表計算)、PowerPoint(プレゼンテーション)といったそれぞれの特性を理解し、与えられた文書と同様の文書を作成できることを目標とする。</p> <p>・就職後、ビジネス文書はこれらのソフトウェアのいずれかで作成されていることがほとんどです。したがって、この講義をマスターすることは組織から必要とされる人材の基本的な職務遂行能力の獲得に直結している。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Microsoft Office概要、パソコン操作の基本。
【前期】 5～8回目	Microsoft Excelの基本①(ファイルの作成、保存、簡単な計算など)
【前期】 9～12回目	Microsoft Excelの基本②(簡単な関数、罫線など)、Wordの基本(ファイルの作成・保存)
【前期】 13～16回目	Microsoft Wordの基本③(各種機能の紹介、簡単な文書作成など)
【前期】 17～19回目	■前期試験: Officeソフトウェアの機能や部位の意味・名称に関するペーパーテストおよび与えられた指示通りのExcel/Wordファイルが作成できるかどうかを問う。
【後期】 20～23回目	Microsoft Wordの基本④(レイアウト要素の確認)
【後期】 24～27回目	Microsoft PowerPointの基本①(ファイルの作成、保存、簡単なプレゼンテーションなど)
【後期】 28～31回目	Microsoft PowerPointの基本②(プレゼンテーションについて)
【後期】 32～35回目	Excel/Word/PowerPointの適切な用途について総復習。
【後期】 36～37回目	■後期試験: 実技試験のみ(Word/Excel/PowerPoint) 与えられた指示通りのExcel/Word/PowerPointファイルが作成できるかどうかを問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解/PC操作」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Word/Excel/PowerPointは、業界を問わず世界中のビジネスで標準的に使われているOfficeソフトウェア群です。この講義を受講することで、仕事をする上で欠かせないコンピュータによる文書作成ノウハウを身につけることができます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明知識 I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	コンサートスタッフ知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。様々なアーティストのコンサートにおける照明デザイン、照明オペレーターとして従事。また、コンサートのみならずスポーツイベントやゲームイベントなどにおいても照明スタッフとして携わる。上記の経験を活かし舞台照明技術の発展に関する講義を行う。				
授業概要					
①照明に関する基本用語、舞台構造及び会場設備や光や色の特性などに関する基礎知識を学ぶ。また、ユニット、パトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につける。					
到達目標					
・コンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きを説明して、ホール内や郊外研修で実践させる。 ・カリキュラム終了時には一人のスタッフとしてカウントできる様なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るようなデザイン能力、操作能力を習得する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	仮説システムの照明の仕事① 概要説明。
【前期】 5～8回目	仮説システムの照明の仕事② 器具の吊り込み。
【前期】 9～12回目	仮説システムの照明の仕事③ システム。
【前期】 13～16回目	仮説システムの照明の仕事④ 安全対策、養生。
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	劇場設備の学習 舞台構造、名称。
【後期】 24～27回目	劇場照明の学習 設備、名称。
【後期】 28～31回目	劇場照明の学習 仕込み。
【後期】 32～35回目	劇場照明の学習 撤収・劇場を使用する時のマナー。
【後期】 36～37回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインコンソールのオペレート技術を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
使用教科書	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明システム I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	イクイップメント I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。様々なアーティストのコンサートにおける照明デザイン、照明オペレーターとして従事。また、コンサートのみならずスポーツイベントやゲームイベントなどにおいても照明スタッフとして携わる。上記の経験を活かし舞台照明技術の発展に関する講義を行う。				
授業概要					
①電源ユニット、調光卓、灯体やその他周辺機器の安全かつ正しい取り扱い方法を学ぶ。総合的に照明のシステム構造を理解する事で、オペレート技術の向上にも反映していく。					
到達目標					
・コンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きを説明して、ホール内や郊外研修で実践させる。 ・カリキュラム終了時には一人のスタッフとしてカウントできる様なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るようなデザイン能力、操作能力を習得する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	学校機材の説明、電源の説明。
【前期】 5～8回目	学校機材の説明、電源の説明。
【前期】 9～12回目	劇場の照明バトンについての学習。
【前期】 13～16回目	劇場の照明バトンについての学習。
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	さまざまな機材の説明、学習。
【後期】 24～27回目	ムービングライトを中心にした機能の学習。
【後期】 28～31回目	照明全般のシステムを理解する。
【後期】 32～35回目	スモークマシンなど照明効果の為のアイテムの説明。
【後期】 36～37回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明の知識を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
使用教科書	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明オペレート I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	照明 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡のライブハウスにて照明スタッフとして6年間在籍。現在は地元バンドの全国ツアー専属照明などフリーランスとして活躍。 上記の経験を活かし照明オペレーションを中心とした実技指導を行う。				
授業概要					
<p>①電源の入れ方やパッチの手順などの基本操作、並びにチェイスやストロボなど様々な機能を学び、メインコンソールのオペレート技術を身につける。</p> <p>②ピンスポットオペレーターやムービングスポットオペレーターとしての技術も同時に学んでいく。</p> <p>③最新式の照明コントローラを使用してムービングライトを含めた様々な照明機材の操作方法のレクチャー、ピンスポットの操作方法を繰り返し訓練する。</p>					
到達目標					
<p>・学内の授業だけではなく、学外のコンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きや舞台構造を説明して、より照明スタッフとしての幅広い知識を習得する。</p> <p>・楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具現化出来るようなデザイン能力、操作能力を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	照明機材と、その使用方法の説明①
【前期】 5～8回目	照明機材と、その使用方法の説明②
【前期】 9～12回目	ピンスポットの使用方法、キューに反応できるスキルの習得。
【前期】 13～16回目	照明キューの解説。
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期の授業内容からの筆記試験を実施。内容を理解しているかを問う。
【後期】 20～23回目	照明コントローラーの基本的な使用方法。
【後期】 24～27回目	照明の方向性とビームのコンビネーション。
【後期】 28～31回目	サンプル曲を使った照明キューの作成①
【後期】 32～35回目	サンプル曲を使った照明キューの作成②
【後期】 36～37回目	■後期試験:実技試験を実施。課題を設定して、支持通りに照明コンソールを操作できるかの確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインコンソールのオペレート技術を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	CADオペレート I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	CAD I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡の照明会社に13年間在籍し、九州地区を中心に照明業務に従事。現在はフリーランスの照明家として活躍。音楽舞台ともに造詣が深い。上記の経験を活かしCADオペレーションを中心とした実技指導を行う。				
授業概要					
<p>①CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び、舞台照明における仕込み図、平面図や立面図の製作を行う。</p> <p>②実際に様々なイベントの仕込み図を製作し、各シチュエーションにおける製作技術を身につけるとともに視覚的に照明の全体構造を理解する。</p>					
到達目標					
<p>・CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び授業内で与えられた課題を指示通りに図面を作成して、仕込み図を完成できるようになる。同時にPCの使用法を学び、作業の正確性やショートカットを習得してスピーディーに図面作成することが出来るようにする。</p> <p>・作成を通じて、舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解を深める。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	各コマンドの説明と練習。
【前期】 5～8回目	レイヤ、クラス概念説明とそれぞれを行き来した作図練習①
【前期】 9～12回目	レイヤ、クラス概念説明とそれぞれを行き来した作図練習②
【前期】 13～16回目	寸法、縮尺説明。
【前期】 17～19回目	■前期試験:実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	コマンド習得。
【後期】 24～27回目	照明機材などのテンプレート作成①
【後期】 28～31回目	照明機材などのテンプレート作成②
【後期】 32～35回目	仕込み図の作成。
【後期】 36～37回目	■後期試験:実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	CADソフト「Vectorworks」の使用法の習得及び舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解及び作成を習得することができるようになります。 また、授業を通じて、PCの使用法になれることによって柔軟な思考力を身につける。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	色彩デザイン I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	デザイン I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡の照明会社に13年間在籍し、九州地区を中心に照明業務に従事。現在はフリーランスの照明家として活躍。音楽舞台ともに造詣が深い。上記の経験を活かしCADオペレーションを中心とした実技指導を行う。				
授業概要					
①「色はなぜ見えるのか」、「色を認識する人間の眼の仕組み」、など根本的なところから、配色の基本的な考え方や色彩の心理的効果などを学び、照明として必要な色彩に関する知識を身につける。					
到達目標					
<p>・コンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きを説明して、ホール内や郊外研修で実践させる。</p> <p>・カリキュラム終了時には一人のスタッフとしてカウントできる様なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るようなデザイン能力、操作能力を習得する。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	カラーフィルターの学習①
【前期】 5～8回目	カラーフィルターの学習②
【前期】 9～12回目	カラーフィルターの学習③
【前期】 13～16回目	色とそれに喚起される印象。
【前期】 17～19回目	■前期試験:現場での作業手順を質問化して筆記試験。
【後期】 20～23回目	LEDスポットの色表現の理論。
【後期】 24～27回目	ムービングスポットCMYカラーの理論。
【後期】 28～31回目	色温度の理解。
【後期】 32～35回目	カラーフィルターの取り扱い。
【後期】 36～37回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	色の意味や印象を理解することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
使用教科書	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	スタッフワーク I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし照明における仕込みからバラシまでの実技指導を行う。				
授業概要					
<p>①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、搬入、ステージセッティング、楽器調整、サウンドチェック、リハーサル、本番や撤収などのスタッフとして必要な実技能力を養う。</p> <p>②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。</p>					
到達目標					
<p>・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。</p> <p>・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ホールの設備を理解して仕込み作業の練習①
【前期】 9～16回目	ホールの設備を理解して仕込み作業の練習②
【前期】 17～24回目	照明コントローラーの習得①
【前期】 25～32回目	照明コントローラーの習得②
【前期】 33～37回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 38～45回目	前期復習、照明機材の取り扱い①
【後期】 46～53回目	照明機材の取り扱い②
【後期】 54～61回目	照明コントローラーの習得③
【後期】 62～69回目	実践練習。
【後期】 70～74回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、セッティング、ステージ調整や撤収などの音楽スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。